

平成□□年分収支内訳書（農業所得用）

(あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

提出用

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

平成 年 月 日

(自 □□□月 □□□日 至 □□□月 □□□日)

番号 □□□□□□□□□

科 目		金額(円)	科 目	金額(円)
収入金額	販売金額 ①		修繕費 ⑪	
	家事消費金額 ②		動力光熱費 ⑫	
	事業消費 ③		作業用衣料費 ⑬	
	小計 ④ (①+②+③)		農業共済掛金 ⑭	
	農産物の棚卸高 期首 ⑤		荷造運賃手数料 ⑮	
	期末 ⑥		土地改良費 ⑯	
	計 ⑦ (④-⑤+⑥)		⑰	
	雇人費 ⑧		⑯	
	小作料・賃借料 ⑨		⑰	
	減価償却費 ⑩		⑲	
経費	貸倒金 ⑪		⑲	
	利子割引料 ⑫		雜費 ⑲	
	租税公課 ⑬		農産物以外の棚卸高 期首 ⑭	
	種苗費 ⑮		期末 ⑮	
	畜産費 ⑯		経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用 ⑯	
	肥料費 ⑰		小計 ⑰ (⑧~⑬までの計+⑯)	
	飼料費 ⑱		経費計 ⑲ (⑮~⑯までの計+⑰)	
	農具費 ⑲		専従者控除前所得金額 ⑲ (⑦-⑲)	
	農業衛生費 ⑳		専従者控除 ⑲	
	諸材料費 ㉑		所得金額 ⑲ (⑲-⑲)	

住 所	業 種 名	事 務 所 所 在 地
フリガナ 氏 名	農園名	氏 名 (名称)
	電 話 番 号	電 話 番 号

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日 数	現 金 物	合 計	源 泉 徴 収 税 額
	延 日	円	円	円
その他(人分)				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	小 作 料 、 賃 耕 料 等 の 別	面 積 ・ 数 量	支 払 額
		a·kg	円

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年齢)	続 柄	従 事 月 数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数 □□		

【税務署整理欄】

⑯

99	□□□□□
----	-------

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高												
				期首		期末						期首		期末										
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額									
田畑	a	円	円	kg	円	kg	円	特 殊 施 設	m ²	円	円	kg	円	kg	円									
(A) 小計																								
畜産物その他	(B) 小計	耕作面積 a	頭羽	kg	円	kg	円	⑤	⑥	区 分	金額	円	合 計	③	合 計									
(C) 小計										畜 產 物 そ の 他	⑦ 雜 收 入 的 內 訛	合 計 (A+B+C)	①	②	合 計 (A+B+C)									

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等(継延資産を含む)	面積又は数量	取得年月	①取得価額(償却保証額)	②償却の基礎になる金額	③償却方法	耐用年数	④償却率又は改定償却率	⑤本年中の償却期間	⑥本年分の普通償却費(②×④×⑤)	⑦特償却費	別償却費	⑧本年分の償却費合計(⑥+⑦)	⑨事業専用割合	⑩本年分の必要経費算入額(⑧×⑨)	⑪未償却残高(期末残高)	摘要要
		年月 ・	円 ()	円		年		月 12	円	円	円	円	%	円	円	
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
計								12								⑩

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ①欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算(販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	①前年からの継越額	育成費用の明細	④本年中に成 熟したもの の取得価額	⑤翌年への 継越額	⑥、⑦の 欄の金額の 計算方法	◎本年中における特殊事情
		円	円	円	円	円	
計			⑦				

平成□□年分収支内訳書（農業所得用）

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。

控
用

平成 年 月 日

(自 □□月□□日 至 □□月□□日)

番号 □□□□□□□□

○申告には、必ず

提出用

を使ってください。

科 目		金額(円)	科 目		金額(円)
取入金額	販売金額①		修繕費⑩		
	家事消費金額②		動力光熱費⑪		
	事業消費		作業用衣料費⑫		
	雑 収 入③		農業共済掛金⑬		
	小 計 (①+②+③)④		荷造運賃手数料⑭		
	農産物の期首⑤		土地改良費⑮		
	棚卸高 期末⑥		⑯		
	計 (④-(⑤+⑥))⑦		⑰		
経 費	雇人費⑧		⑱		
	小作料・賃借料⑨		⑲		
	減価償却費⑩		⑳		
	貸倒金⑪		雜費⑲		
	利子割引料⑫		農産物以外の棚卸高⑳		
その他の経費	租税公課⑬		⑳		
	種苗費⑭		経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用⑳		
	畜産費⑮		小計 (⑬~⑰までの計)⑯		
	肥料費⑯		経費計 (⑬~⑰までの計+⑯)⑰		
	飼料費⑰		専従者控除前の所得金額 (⑦-⑰)⑯		
	農具費⑱		専従者控除⑯		
	農葉生費⑲		所得金額 (⑯-⑰)⑯		
	諸材料費⑳		⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額		

住 所	業種名	依頼 税理 士等	事務所所在地
農園名			氏名(名称)
フリガナ 氏 名	電 話 番 号		電 話 番 号

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数 延日	現金物	合計	源泉徴収税額
		現金物 円	合計 円	源泉徴収税額 円
その他(人分)				
計			⑧	□□□□□

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃耕料等の別	面積・数量	支払額
		a·kg	円

○事業専従者の氏名等

氏名 (年齢)	統柄	従事月数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数	□□	

○この用紙は控用です。申告には、必ず

提出用を使ってください。

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高							
				期首		期末						期首		期末					
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額				
田畠	a	円	円	kg	円	kg	円	特 殊 施 設	m ²	円	円	kg	円	kg	円				
	Ⓐ小計																		
畜								農 産 物 計 (Ⓐ+Ⓑ)	耕作面積 a										
									頭羽										
	Ⓑ小計																		
畜								畜 產 物 そ の 他											
	Ⓒ小計																		
畜								合 計 (Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)		①	②	雜 收 入 の 内 訳	区 分	金 額					
															円				
	計													合 計	③				

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年月	①取得価額(償却保証額)	②償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	③償却率又は改定償却率	④本年中の償却期間	⑤本年分の普通償却費(②×③×④)	⑥特償却費	別	⑦本年分の償却費合計(⑤+⑥)	⑧事業専用割合	⑨本年分の必要経費算入額(⑦×⑧)	⑩未償却残高(期末残高)	摘要要
		年月	円 ()			年		月 12				円	%	円	円	
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
		・	()					12								
計														⑩		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ①欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算(販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	①前年から の繰越額	育成費用の明細					④本年中に成 熟したもの の取得価額 (①+⑤-⑥)	⑤翌年への 繰越額 (①+④-⑦)	⑥、⑧、⑨の 欄の金額の 計算方法	○本年中における特殊事情	
			②本年中の種苗費、種付料、肥料、農薬等の投下費用	③小計 (②+⑤)	⑤育成中の果樹等から生じた収入金額	⑥本年に取得価額に加算する金額(④-⑤)						
計							⑦					